

市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」を開催しました

■問い合わせ先 総合政策課 ☎(32)8886

10月13日から15日にかけて、令和4年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」を市内3会場で開催しました。

3日間で延べ170名の方が参加され、市政に対する多くのご意見・ご要望が寄せられました。

いただいたご意見等は、今後のまちづくりに生かしていきます。

ご意見・ご要望の内訳

市民生活	11
保健福祉	3
生活基盤	6
教育・文化	8
地方創生	1
その他	2
合計	31

開催日・場所	参加者	意見・要望
10月13日(木) 国分寺公民館	55名	11件
10月14日(金) 南河内公民館	52名	9件
10月15日(土) グリムの館	63名	11件
合計	170名	31件



ご意見と回答

いただいた主なご意見と市の回答の一部を紹介します。一覧は、市ホームページをご覧くださいだけです。

外国人のための窓口について

Q 日本語が話せない外国人や、日本の文化やルールがわからなくて困っている外国人が多くいるので、外国人が困りごとや悩みを相談できる窓口があると助かります。

A 日本語のサポートが必要な方や担当課がわからない場合は、市民協働推進課の窓口でご相談いただけます。

今後も、やさしい日本語を含めた多言語での情報発信を促進するとともに、誰にとっても暮らしやすい多文化共生の地域づくりを推進してまいります。

ごみの分別について

Q ごみの分別について、市民に理解される広報の工夫が必要ではないでしょうか。ごみ処理

に対する諸経費を市民に知らせ、分別意識を高める努力をお願いします。

A 広報紙では、毎号の環境トピックスによりごみ分別などの周知を図るほか、毎年自治会長会議にて、ごみの減量化、資源化の推進を呼びかけてまいりましたが、ごみの搬出量は増加傾向にあります。ごみの分別を進め、燃やすごみの排出量を減らす取り組みについて、市民の皆さまに理解される広報の工夫が必要と考えております。

子ども会育成会について

Q 育成会に加入するお子さんが少なくなっているが、加入を促進するにはどうしたらよいでしょうか。

A 子どもの生きる力を育むためには、地域の大人が積極的に関わり、様々な経験を重ねる機会を作ることが大切です。まずは、地域の大人同士のつながりやコミュニティづくりが重要であると考えます。

高齢者が楽しく集まれる場の設定について

Q 傾聴を希望する方を集めておしゃべりできる場を設定したく、希望する高齢者を把握するための民生委員の協力、傾聴の場に来るための交通手段、傾聴クラブや講座卒業生の協力及びスキルアップ講座の開設を要望します。

A 民生委員が集まる定例会の中で、ボランティアグループを紹介することが可能です。また、ボランティアセンターでは、登録団体の方にボランティアを必要としている人を紹介しております。交通については、福祉タクシーや市のデマンド交通である「おでかけ号」をご利用いただきたいと思っております。

また、社会福祉協議会では「傾聴ボランティア養成講座」を開催しております。今後も、スキルアップ講座も含めて、このような講座の開催について積極的に促進してまいりたいと考えております。